

2022年(令和4年)9月6日(火曜日)

# 英語スピーチ堂々訴え

海星学院杯中学生弁論大会

## 西胆振の発音、表現力競う 7校19人



英文を暗唱する生徒▶

室蘭・海星学院高校(堺俊光校長)が主催する第42回海星学院杯中学生英語弁論大会が3日、室蘭市高砂町の同校で開かれ、出場した生徒たちが英語の発音や表現力を競った。

胆振管内の中学生の英語

力を上させる狙いで、毎年開催。昨年は、コロナ禍のためビデオ審査会形式に切り替えて行われた。

今年も西胆振管内の7校から1〜3年生19人が出場。暗記した課題文を声に出して表現する「暗唱」と

自由なテーマで自作の英作文を発表する「スピーチ」の2部門で行われた。

審査委員は、上智大学の吉田研作名誉教授や海星学院の英語教諭ら3人が務めた。生徒たちの発音やアクセント、暗唱度などを入念に採点。生徒たちは、身ぶり手ぶりを交えながら、声の大きさに強弱をつけるなど表情豊かに表現し、練習の成果を披露した。

壮瞥町の壮瞥中学校2年、篠原帥さん(14)は新美南吉原作の「ごんぎつね」の一場面を英訳した課題文を暗唱。「緊張したけれど、気持ちを含めて表現した」と笑顔を見せていた。

(伊藤千晶)